

所属・資格 中国語中国文化学科・教授

申請者氏名 青木 隆

研究課題		中国清朝ムスリム学者・劉智のコスモロジー（その6）
報告の概要	研究目的 および 研究概要	清朝のイスラム学者・劉智『天方性理』の訳注を作成しながら、哲学思想の構造、アラビア語・ペルシア語原典との比較検討、イスラームと中国思想の両者を可能にするような劉智思想の基本的な枠組みを解明する。 『天方性理』全巻の訳注刊行を念頭に置き、これまでの訳注原稿を見直す。中国ムスリム思想専攻の佐藤実（大妻女子大学）、アラビア哲学専攻の仁子寿晴（同志社大学）をお招きし、徹底的な討論を行ないながら訳注の完成を期す。
	研究の 結果	一昨年度来、アラビア語・ペルシア語の研鑽を積むことを継続している。その目的は、アラビア学専門家の指導のもと、非専門家の自分が自ら古典アラビア語・近世ペルシヤ語思想文献に取り組むためである。同時に、共同研究者であるアラビア学専攻の仁子寿晴氏の井筒俊彦の英文著作翻訳に対して、中国思想研究の立場から積極的に協力するとともに、本邦の学界であり受容が進んでいないR・フランク及び井筒俊彦のカラーム関連研究の解明にあたった。こうした地道な研究活動の結果、平成31年度からは、アラビア語・ペルシア語文献を直接参照し、劉智『天方性理』関連の論考を仁子氏との共著の形で発表するところまで到達することができた。
	研究の 考察・ 反省	先年より課題になっている問題に引き続き取り組まねばならない。これまで、アラビア学専門家の前掲仁子氏により示された、ペルシア語・アラビア語の思想文献群の分析結果をもとに、劉智『天方性理』の思想内容の解明を氏と共同で行ない、具体的なトピックについて論考を積極的に発表してゆきたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者		※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 なし